平成２６年度社会福祉法人地域で一緒に暮らそう会　事業報告

1. はじめに

社会福祉法人地域で一緒に暮らそう会が、ＮＰＯ法人から移行して３年が過ぎました。
この１年間「本人の気持ちを全力で支える事」を基本に、地域での「生きづらさ」の解消に向け、障がいのある人の権利を守り、様々な福祉ニーズへの需要・多様化に応える事業所として、全力で支援を行ってきました。

現在、国や道、市町村には、障がいのある人の暮らしを支える制度、福祉サービスが用意されています。

しかし、障がい児（者）の暮らしている地域で、本当に障がい児（者）が活用できるサービスがどれだけ用意されているのか、疑問です。

市町村によっては、国に制度が無い。又は、国に制度があっても道に制度が無い為、市町村で制度が用意されていなかったり、利用できなかったり、この１年、制度の狭間で支援を受けられない人からの相談や、生活に密着した福祉サービスの在り方等、社会福祉法人の責務として「地域における公益的な取組（日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供する公益的な取組)」を模索してきました。例えば事業開所時間外の利用等、職員の協力を基に利用者ニーズに応えてきましたが、地域で暮らすためには当法人だけの努力では限界があります。

道や市町村の財政力によって、市町村の福祉支援の考え方がまったく違う状況、まさに、福祉サービスに市町村格差が出ていることを、行政は重く真剣に受け止めるべきと思います。

障がい児（者）を支える地域の仕組みづくりの検討が必要であるとの思いの１年でした。

２．理事会・評議員会の開催状況

（１）理事会について、次のとおり開催された。

	開催日	参加数	議案等
第１回	4 月 11 日	理事７名 監事２名	・新理事、パート職員給与等過不足払いの処理 ・新理事、監事、評議員の任期修正　他
第２回	5月１７日	理事６名 監事１名	・平成２５年度事業報告、監査報告 ・経理規程一部改定・虐待防止規程制定 ・人事考課規程の制定　他
第３回	5 月 24 日	理事６名	・役員定年の見直し　他
第４回	5 月 24 日	理事６名	・平成２５年度事業報告、同決算報告 （第１回評議員会報告、承認事項の確認）
第５回	7 月 6 日	理事７名 監事２名	・音更町学童保育運営業務受託公募提案（柳町、緑陽台）

			・職員倫理規程一部改正　他
第６回	10 月 27 日	理事７名 監事２名	・規則・規約の一部改定（監事規程他 10 件） ・監査報告
第７回	11 月 23 日	理事７名 監事１名	・退職職員再雇用規程の廃止、定年退職職員再雇用規程の制定 ・平成２５年度決算訂正、平成２６年度補正予算　他
第８回	11 月 23 日	理事７名 監事１名	・規則・規約の一部改定（監事規程他 10 件） ・監査報告・（第２回評議員会報告、承認事項の確認）
第９回	３月 22 日	理事６名	・平成 27 年度事業計画、同予算（案） ・共同生活援助事業の過小請求　他
第 10 回	３月 28 日	理事５名	・平成 27 年度事業計画、同予算（案） ・法人監査委員による監査結果 ・（第３回評議員会報告、承認事項の確認）

（２）評議員会について、次のとおり開催された。

	開催日	参加数	議案等
第１回	５月 24 日	評議員９名	・平成２５年度事業報告、監査報告 ・経理規定一部改定・虐待防止規程制定 ・人事考課規程の制定　他
第２回	11 月 23 日	評議員 11 名	・規則・規約の一部改定（監事規程他 10 件） ・監査報告
第３回	３月 28 日	評議員 10 名	・平成２７年度事業計画、同予算 ・共同生活事業の過小請求　他

３. 事業運営について

(1) 第二種社会福祉事業

・障害者福祉サービス事業の経営
・相談支援事業の経営
・移動支援事業の経営
・障害児通所事業の経営

(2) 公益を目的とする事業

・地域生活支援事業
・レスパイトサービス事業
・共生型事業
・訪問看護事業（休業届提出中）

（３）平成２６年度の利用状況（平成 27.3.31 現在）

①　18 歳以上

	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1	利用者合計
人数	11	7	5	1	2	1	27 人

※　区分 6 のうち医療的ケア対象者は 2 名

②　18 歳未満（きらきらはうす）

放課後デイサービス（定員 20 名）・児童発達支援（定員 18 名）

	医療ケア	区分３	区分２	区分１	放課後デイ	発達支援	利用者合計
人数	7	9	15	3		4	38 人

③　18 歳未満（第 2 発達支援センター）

放課後デイサービス（定員 20 名）・児童発達支援（定員 18 名）

	医療ケア	区分３	区分２	区分１	放課後デイ	発達支援	利用者合計
人数					13	16	29 人

合計９４名

（４）平成２６年度　事業別延べ利用者数・事業収入・人件費・人件費比率

別紙資料①を参照

４.監事による監査の実施について

平成 26 年度に 4 回実施し、適切に実施され所要の報告がなされています。

	実施日	監査内容
第 1 回	5 月 16 日	H26.1.1～H26.3.31 迄の業務執行の状況及び財産の状況 H25 年度決算監査
第 2 回	7 月 29 日	H26.4.1～H26.6.30 迄の業務執行の状況及び財産の状況
第 3 回	10 月 27 日	H26.7.1～H26.9.30 迄の業務執行の状況及び財産の状況
第 4 回	1 月 21 日	H26.10.1～H26.12.31 迄の業務執行の状況及び財産の状況

５.外部監査の実施について

公認会計事務所による外部監査を例月、及び決算期に実施し透明性に寄与しています。

６.役職員の研修について

社会福祉事業に関し最新情報の収集は、法人運営に不可欠であり、法人設立後初めて福祉医療機構の経営セミナーに参加（理事長・専務理事）をしました。新規事業展開（生活介護事業）を目指し、施設訪問をはじめ事業の方向性を研究しました。

日　　付	研修先（開催法人）	研修内容	人数
H26.6.6	社福）アシリカ（釧路市）	生活介護・就労支援事業の運営について	理事　３名
H26.6.6	独立行政法人福祉医療機構（大阪市）	社会福祉法人施設開設・経営実務セミナー	理事　２名
H26.7.23	社福）北海長正会（北広島市）	障がい者多機能型施設（通所施設）生活介護・放課後等デイサービス他の施設整備の概要他	理事６名・評議員３名

７.平成２６年度の事業計画の検証について

1.組織

法人の理念・方針を達成する為に、職員の専門性を十分に発揮することができる環境の整備の一つの手法としての経営会議等を行った。

会議開催の状況

開催日	会議名	主な議題	職員	理事
H26.4.14	課長会議	・社員の教育について・各事業の近況	3	2
H26.4.15	ワルツ	・ケース会議（２名）　・テレビの利用方法について	6	
H26.4.15	放課後等デイ	・ケース会議　（２名）・集団療育スケジュールについて	7	1
H26.4.15	かのん	・ケース会議（４名）	4	
H26.4.15	日中一時・居宅合同会議	・ケース会議（３名）	15	2
H26.4.17	ぽこあぽこ	・ケース会議　（３名）	5	
H26.5.12	日中一時・居宅合同会議	・ケース会議　・朝礼について　・避難訓練について ・ＡＭの作業等について	5	
H26.5.16	課長会議	・今後の事業の改善について・課長の人事について	3	2
H26.5.20	かのん	・ケース会議　・バスタオルの洗濯について	5	
H26.5.20	放課後デイ・発達合同会議	・各利用者特別支援計画について	9	
H26.5.20	日中一時・居宅合同会議	・夏祭りについて　　・ケース会議（８名）	18	1
H26.5.20	ワルツ	・ケース会議（２名）　・事業所携帯電話について	6	
H26.5.22	ぽこあぽこ	・ケース会議（４名）　・夕食後の過ごし方について	5	

H26.6.16	課長会議	・生活介護事業についての進歩状況	3	1
H26.6.17	日中一時・居宅合同会議	・肢体不自由者のマッサージについて・休日届について ・夏祭りについて　・会議時の私語について	15	
H26.6.17	ワルツ	・ケース会議（２名）・ケアホーム合同食事会について	4	
H26.6.17	かのん	・ケース会議（４人）・ケアホーム食事会について	5	
H26.6.17	放課後デイ・発達合同会議	・学校見学について　・ケース会議（14 名）	10	
H26.6.19	ぽこあぽこ	・ケース会議（２名）・駐車場の環境整備等について	5	
H26.6.24	夏祭り食事担当者会議	・メニュー、食数について	7	
H26.7.15	日中一時・居宅合同会議	・ワルツのボイラーについ　・事故報告・夏祭りについて	15	
H26.7.15	かのん	・ケアホーム食事会（反省）について　・ケース会議（4 人）	4	
H26.7.15	ワルツ	・ケース会議（２人）　・合同食事会（反省）について	5	
H26.7.17	ぽこあぽこ	・ケース会議（4 名）・合同食事会（反省）について	5	
H26.7.15	放課後デイ・発達合同会議	・学校見学について　・ケース会議（3 名）・夏休みについて	10	
H26.7.29	全体会議	・夏祭りについて	24	
H26.8.19	ワルツ	・ケース会議(2 人)	5	
H26.8.19	かのん	・ケース会議(3 人)　・合同食事会について	5	
H26.8.19	日中一時・居宅合同会議	・ケース会議(2 人)　・夏祭りの反省	13	1
H26.8.19	放課後デイ・発達合同会議	・ヒヤリハット報告　・加算について　・館内の改修について	10	
H26.8.21	ぽこあぽこ	・ケース会議（3 人）	5	
H26.8.25	課長会議	・人事について　・研修について（てぃくたく）	3	2
H26.8.28	全体会議	・障害の特性についての研修	37	1
H26.9.9	課長会議	・今後の人事について	3	1
H26.9.16	かのん	・ケース会議（3 人）　・避難訓練について	4	
H26.9.16	ワルツ	・ケース会議（2 人）	6	
H26.9.16	放課後デイ・発達合同会議	・見学者について　・てぃくたくとの会議について	10	
H26.9.16	日中一時・居宅合同会議	・ケース会議（5 人）	10	1
H26.9.18	ぽこあぽこ	・ケース会議（3 人）　・避難訓練について	5	

H26.10.14	課長会議	・人事について　・個別支援計画について	3	2
H26.10.16	ぽこあぽこ	・ケース会議（3 人）	5	
H26.10.21	かのん	・ケース会議（4 人）	4	
H26.10.21	ワルツ	・ケース会議（2 人）	3	
H26.10.21	日中一時・居宅合同会議	・送迎について　・ケース会議（6 人）	15	1
H26.10.21	放課後デイ・発達合同会議	・学校見学について　・ケース会議（15 人）	9	
H26.10.30	日中一時・居宅合同会議	・ケース会議（1 人）　・腰痛の予防について	18	
H26.11.11	かのん	・ケース会議（4 人）	4	
H26.11.11	ワルツ	・ケース会議（2 人）	6	
H26.11.13	ぽこあぽこ	・ケース会議（2 人）　・クリスマス会について	5	
H26.11.17	課長会議	・携帯電話の使用について　・事故報告　・準職員の処遇について	3	2
H26.11.18	放課後デイ・発達合同会議	・ケース会議（5 人）　・面談終了　報告	9	
H26.11.18	日中一時・居宅合同会議	・人事について　・リーダー業務について　・クリスマス会について	12	2
H26.12.9	担当会議	・クリスマス会について	5	
H26.12.9	全体会議	・感染症（インフルエンザ・ノロウイルス）について	37	1
H26.12.15	課長会議	・感染症対策について　・有償運送について	3	1
H26.12.15	ワルツ	・ケース会議（2 人）	6	
H26.12.16	日中一時・居宅デイ合同会議	・ケース会議（8 人）　・クリスマス会について	27	
H26.12.16	かのん	・ケース会議（2 人）　・インフルエンザ対策	5	
H26.12.18	ぽこあぽこ	・ケース会議（3 人）　・インフルエンザ対策	6	
H27.1.19	課長会議	・生活介護の進歩状況について　・人事考課について　・個人携帯について　・備品購入について　・虐待防止について	3	2
H27.1.20	全体会議	・虐待の対応、権利擁護の講習	46	1
H27.1.20	かのん	・ケース会議（4 人）	5	

H27.1.22	ぽこあぽこ	・ケース会議（4 人）	6	
H27.1.27	放課後デイ・発達合同会議	・人事報告　・H27 年度に向けた調整について	10	2
H27.1.30	担当者会議	・ケース会議（1 人）	7	
H27.2.10	全体会議	・救命救急	36	
H27.2.16	課長会議	・H27 年度の報酬改定について	3	
H27.2.17	放課後デイ・発達合同会議	・研修会参加報告　・面談の報告	10	
H27.2.17	かのん	・ケース会議（4 人）	4	
H27.2.17	ワルツ	・ケース会議（2 人）	6	
H27.2.17	日中一時・居宅合同会議	・人事異動について　・携帯電話の使用について　・新規利用者について　・ケース会議（7 人）	11	2
H27.2.19	ぽこあぽこ	・ケース会議（5 人）	6	
H27.3.16	課長会議	・4 月からの体制について　・作業療法士について　・会議について	3	
H27.3.17	ワルツ	・ケース会議（2 人）　・職員の勤務体制、引継ぎについて	5	
H27.3.17	放課後デイ・発達合同会議	・新入社員と配属について　・春休みの利用について　・緊急カードについて　・ヒヤリハットの確認	9	
H27.3.17	日中一時・居宅合同会議	・ワルツ、かのんについて　・ケース会議（5 人）	11	
H27.3.17	かのん	・ケース会議（4 人）	4	
H27.3.19	ぽこあぽこ	・ケース会議（5 人）	5	

２.財務

重点施策である（１）事業計画の作成と予算統制は、各事業における計画にそってそれぞれの経費を支出しました。

事業収入においては、予算額 225,917,294 円に対し、実績額 222,865,499 円執行率 98.6%となりましたが、前年対比 151%となりました。予算額との差（3,051,795 円）の要因は、音更町の移動支援事業の利用条件の見直しに伴い、他事業での収入がアップしたのにもかかわらず、予算額との差となってしまいました。

事業活動支出計は予算額 208,933,017 円に対し実績額 181,169,705 円執行率 86.7%となりましたが、前年対比 129.1%となっています。執行残も 27,763,312 円と大きくなってしまいました。

その原因の一つに、今年度補正予算を平成 26 年 11 月 23 日に計上しただけで、新年度予算審査と同時に補正予算の計上を行わなかったことが、大きな要因となっています。今後は、予算統制の考え方を十分理解し、適切な時期に補正予算の計上を行うことが必要です。

（２）定期的な（毎月）収支（経営）分析の実施については、ＴＫＣの会計ソフトを利用し、毎月試算表を作成するとともに、会計事務所による経営分析を行ってきました。

事業収入の 25.2%・延べ利用者数の 28.7%が利用している日中一時支援の人件費比率が 84.6%となり、昨年度よりは改善していますが依然高く、サービス単価（事業収入）が市町村の財政力に左右される日中一時支援事業が、今後法人経営に影響することが考えられるため、早期の生活介護事業の転換が必要です。又、事業未収入金が平成 26 年 3 月決算時 23,540 千円だったのが平成 27 年 3 月決算 28,397 千円と約 20.6%の増となり、平成 25 年 4 月当初（14,743 千円）から 92.6%の増となり資金繰りが依然大変な状況です。

（３）経営会議での収支状況の共有については、課長会議の時に収支状況を報告しています。又随時経理部門との連携にて、状況を確認できる体制にしています。

３.人事労務

平成２６年度は相当の労力、時間を費やし規約・規程の改廃に取組み利用者の権利・人権保護に重点的に整備を加え、法人の信頼を高めるものになりました。これらの実践により利用者自立の一助となるよう職員研修等を含め、権利擁護等の啓発に努めてきました。

一方、役員・職員の各種規程・規則についてもそれぞれより適正に整理し、改定してきましたが、今後も実態との齟齬が生じるなどの不都合がある場合は所要の見直しを行います。

当法人の事業運営には、人材確保が大切です。当法人の職場体験や法人理念等を、多くの学生等に伝え経験する場を設け、職員の新規採用や職員のスキルの向上につなげ、利用者の立場に立った支援の充実を考えていきます。その為にも、ハローワークが行っているキャリアアップ助成制度や、処遇改善手当等を十分研究・活用し、職員のスキルアップや新たな雇用を目指します。

（１）研修については、サービスに必要な資格研修を始め、利用者の権利擁護等も含め、職員全員を対象に行ってきました。（別紙資料②）

４.キャリアアップ助成制度の活用

平成 26 年度は、準職員から正規職員に 1 名転換し、現在正職員として勤務しています。

５.防災

防災備品を利用した訓練の実施及びケアホームにおける夜間訓練の実施については、備蓄食品の入れ替え時期と、避難訓練とのタイミングが合わず行っていないが、防災備品を使用しての訓練（自衛消防、救命）を、実施しました。ケアホームにおける夜間訓練は、想定訓練を行いました。

６.各種事業の反省

①居宅介護・重度訪問・行動援護事業（ヘルパー派遣）

平成２６年度当初より、ケアホーム３棟を運営することにより、個人で利用する居宅介護（身体介護）の利用が急増し前年度の６倍の、延べ利用者数となりました。又、卒業後の利用者の増により通院介助も増え、成人の利用者が増えればさらに、居宅介護（身体介護・通院介助）の利用が、増える傾向です。その為にも、職員の確保が必要です。

②共同生活援助事業（グループホーム）

平成２６年４月１日よりワルツ開設により、３棟１１名の入居者で可動しています。会議開催の状況にもあるように、各ホーム月１回で支援会議等を開き、利用者の情報共有を行っています。家族との信頼関係を密に、日々個別支援計画に基づき支援を行ってきました。

③児童発達支援・放課後等デイサービス

年間研修計画に基づき、担当職員の研修に力を入れてきました。特に、心の発達、愛着形成、親子関係等の研修に力を入れ、先進事業を行っている施設に研修に行き、職員の質のスキルアップに努めてきました。利用者数も児童デイは前年対比 160%の延べ利用者数 2,503 人、発達支援は前年対比 114%の延べ利用者数 439 人となっています。今後も利用者のニーズはさらに増えると予想され、現在の定員(放課後デイ 10 名・発達 5 名)では、利用者ニーズに応じる事が難しくなってくることも踏まえ、人材育成はもとより新たな事業所開設をも視野に入れる事も大切だと思います。

音更町の委託事業の第２発達こども支援センターの運営も順調に進み、平成２６年４月当初延べ利用者数が１０８名でしたが、平成２７年３月末には２１２名と１．９倍になっています。現在まだ定員（日々の利用人数）には、達していませんが、すでに個別療育の場所（教室）が確保出来ない等、音更町との相談が必要になってきました。増築等も踏まえ研究を行う時期に来ています。

④地域生活支援事業（日中一時支援・移動支援）

利用者一人ひとりが描く社会参加の実現をめざし支援してきましたが、すべての利用者が充実した余暇活動を送ることができませんでした。この要因には、人件費比率に出ているように、市町村の福祉サービスに対する考え方・財政力に大きく左右される、福祉サービスとなっているからです。又、平成２６年度当初より、音更町の移動支援のサービスの内容が変更になり（日中一時支援との併用を認めない・日中一時の加算対象とする）等で、移動支援の延べ利用者数が前年対比９．５７%の２３５人となりました。

学業期を終えた者にとって、サービスの安定した生活介護・就労支援等のサービスに移行することにより、より社会参加の充実がはかられ、法人としても収入の安定がはかれ、より一層の丁寧な支援ができます。今後、利用者ニーズを踏まえ研究が必要です。

⑤相談支援事業

平成２６年度より、積極的に相談支援事業所としての人材育成を行ってきました。他事業に比べて人件費比率（2,535%）が極端に高くなっていますが、今後利用者ニーズを把握し、行政はもとより関係機関との調整を行い、利用者にとって必要なサービスをプランニングする仕事の重要性を考えると、現状は先行投資となっています。現在、利用者(保護者)本人が作成しているセルフプランが主となっていますが、今後は相談支援専門員がプラン作成を行い、そのプランに基づいて福祉サービス提供する事になるので、利用者増も見込めます。

⑥短期入所支援事業

平成２６年度は、延べ利用者が１３名となっています。緊急時対応はありませんでしたが、利用者の兄弟姉妹の入学・卒業等の為、遠方に行かれるご家族の利用がありました。

在宅生活をおくるためには、緊急時安心して安全に短期入所を受け入れる事業所が必要です。利用者が少ない為、採算ベースには届きませんが事業継続が必要です。

⑦共生型事業

平成２６年度は、地域住民との交流として、「きらきら夏祭り」を８月４日に開催しました。地元町内会役員の方々・大谷短大のボランティア等との交流を通し、障がいに対する理解を深めていただきました。残念ながら防災訓練等を、共同で行うことはできませんでしたが、スマイルキッチンでの食を中心に、これからも交流事業を発展させたいと思います。

７.利用者むけ開催した主な行事

利用者向けに開催した主な行事は以下の通り。

月日	内容	場所	参加利用者数
4月12日	カラオケ	うたや	18人
6月24日	ケアホーム合同食事会	スマイルキッチン	11人
8月　4日	きらきら夏祭り	当法人	35人
8月21日	ケアホーム合同食事会	スマイルキッチン	11人
12月20日	クリスマス会	福祉センター	33人
2月16日	カラオケ	うたや	3人
3月7日	カラオケ	うたや	19人

８.職員研修

月日	内容	主催	職員	理事
4/1-4/3	新入社員研修	当法人	10	

4/26	子どもの頭の中の作業テーブル	学習障害児親の会	1	
4/28	家庭訪問（重症心身障害児）	当法人	2	
5/13-5/14	福祉専門職キャリアアップ研修初級	道社協	1	
5/17	実践報告会	札幌自閉症協会	2	
5/24	感覚統合	日本感覚統合学会	2	
5/30-5/31	北海道通園センター研修会	通園センター連絡協議会	1	
6/4	GH世話人研修会	当法人	1	
6/4-6/5 .9/3-9/5	相談支援従事者研修(基礎研修)	北海道	2	
6/5-6/6	児童福祉施設職員研修	道社協	1	
6/10	安全運転講習会・虐待防止について	当法人	58	2
6/15-6/16	SSファストレベル講習会	SST普及協会	1	
6/21	全国児童発達支援協議会北海道ブロック研修会	発達支援協会	3	
6/25	避難訓練	当法人	16	
6/25-6/26	介護職員専門研修	道社協	1	
6/26-6/27	GH世話人研修	当法人	1	
7/5	言語障害臨床研修会	言語障害教育研究協会	1	
7/11	学校訪問	当法人	2	
7/14	学校訪問	当法人	2	
7/16-7/18	主任保育士等研修	道社協	1	
7/23	北広島北海長生会　施設訪問	当法人	3	
7/24-7/25	新任経理・総務担当職員研修	道社協	1	
8/6-8/7	介護職員専門研修Ⅱ	道社協	1	
8/9-8/10	自閉症スペクトラムアセスメントTTAP研修	釧路のぞみ協会	1	
8/20	GH世話人研修	当法人	1	
8/21-8/22	福祉専門職キャリアアップ研修（中級）	道社協	1	
8/27	GH世話人研修	当法人	1	
8/28	障がい特性について	当法人	58	2
8/29	GH世話人研修	当法人	1	
9/2	家庭訪問（重症心身障害児）	当法人	1	
9/2-9/3	十勝子供発達支援事業実践研修	十勝振興局	1	
9/3-9/4	メンタルヘルス研修	道社協	1	

9/5	学校訪問	当法人	3	
9/10	家庭訪問（重症心身障害児）	当法人	5	
9/16-9/17	学校訪問	当法人	3	
9/11-9/13	新入社員研修	当法人	1	
9/18	避難訓練（第２発達）	当法人	5	
9/26	家庭訪問（重症心身障害児）	当法人	1	
9/27	全国障害者問題研究会北海道夏期学習	北海道	2	
9/30	学校訪問	当法人	3	
10/1-10/3	言語障害児関係職員研修	道社協	1	
10/8	児童虐待対応専門研修	十勝振興局	4	
10/9	相談支援部会	十勝振興局	2	
10/15-10/16	相談支援従事者研修	児童発達支援協会	1	
10/22	排便コントロール講演会	当法人	47	1
10/28-10/29	北海道サービス管理責任者研修	北海道	1	
11/6-11/7	発達支援関係職員専門研修	北海道	2	
11/8-11/9	帯広保育士研修会	帯広保育士研究会	1	
11/11-11/13	北海道児童発達支援管理責任者研修	北海道	1	
11/12	虐待防止講演会	十勝振興局	2	
11/18	学校訪問	当法人	3	
11/27	学校訪問	当法人	3	
11/20-11/21	福祉専門職キャリアアップ研修（管理職）	道社協	1	
11/20-11/23	新入社員研修	当法人	1	
11/22-11/23	CDS－JAPAN肢体不自由部門研修	児童発達支援協会	2	
12/1-12/2	北海道障害者虐待防止・権利擁護研修	北海道	1	
12/9	感染症について	当法人	60	2
12/9-12/11	児童養護施設現場研修	当法人	1	
12/10	自立支援協議会研修会	音更町	2	
12/14	福祉有償運転講習会	当法人	12	
12/20-12/21	WISC－IV知能検査技術講習会	日本文化科学社	1	
12/25	家庭訪問（重症心身障害児）	当法人	1	
1/14	十勝特別支援教育推進ネットワーク協会冬期講習	特別支援教育振興会	1	
1/20	虐待対応・権利擁護講習会	当法人	65	2
2/4	マイナンバーガイドライン研修	道経済連合会	1	
2/9	避難訓練（第２発達）	当法人	7	
2/10	救命救急講習会	当法人	36	
2/14	学校訪問	当法人	2	

2/14	ICTﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実践成果報告会	帯広養護学校	3	
2/16-2/17	強度行動障害支援者養成研修	北海道	1	
2/20	児童相談支援領域研修会	十勝障害者支援ｾﾝﾀｰ	1	
2/23	家庭訪問（重症心身障害児）	当法人	1	
2/24	学校訪問	当法人	2	
3/4-3/5	相談支援従事者研修	北海道	1	
3/5	特別支援教育ネットワーク研修会	特別支援教育振興会	1	
3/6	避難訓練（第２発達）	当法人	8	
3/11	生活困窮者自立支援制度研修	北海道	1	
3/20	十勝圏相談支援担当者研修	相談支援センター	1	
3/27	帯広大谷短大との連携に関する説明会	音更社協	1	

９.地域社会への貢献

①地域活動の推進

地域の中で私たちの事業所を認識してもらうことを第一の目的に、各種交流事業、夏祭りやクリスマス会など、法人の行事を町内会等へ案内し、参加を得てきました。また、平成 25 年度同様に日中活動の中で地域清掃に取り組み、地域社会の一員としての役割を自覚しています。

今後も、地域の行事に積極的に参加します。また、様々な交流行事を計画し、地域に案内することで、地域の中での認知度をあげていきます。

月日	内容	場所	参加人数
8 月4日	きらきら夏まつり	施設敷地内全部	250 名
10 月7日	そば打ち交流	はぐ	50 名
12 月 20 日	クリスマス会	音更福祉ｾﾝﾀｰ	120 名

②地域の福祉人材育成

夏祭り・クリスマス会の開催時に、帯広大谷短期大学生ボランティアを募り、運営に協力してもらうとともに、利用者とも触れ合うことができました。利用者との交流を主に、事業所の概要・サービス等を体験してもらい、平成２７年度新入社員として３名が入社するきっかけとなりました。介護を目指す学生の中で認知度をあげることが人材確保の面からも必要な事だと考えます。

又、音更町の自立支援協議会の一員となり、地域の福祉関係者との懇談や各法人との交流を行っています。

③地域からの支援

当法人への様々な支援を頂いています。

寄付金については 32 件 402,480 円、タオルおむつ、ジュースなどの物品寄付が 10 件と、地域の方々より多くの善意を頂いているところです。

また、今年度も交流事業の一つとして、音更蕎麦研究会の方々がそば打ち体験として、ボランティアで来てくださり、さらに理事の後藤良勝氏より施設内の除雪に関しボランティアで行ってもらっていることに、深く感謝の意を表します。

１０.役員・職員配置

（1）本部　理事７名　評議員 15 名　監事２名

（2）事業

①職種別職員数

職種	介護福祉士		ﾍﾙﾊﾟｰ１級（介護職員研修修了者含む）		ﾍﾙﾊﾟｰ 2 級		看護師言語・作業療法士		栄養士		保育士		事務・運転手・世話人・調理員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
年度初	9	4	1	1	1	11	2	2	1	0	1	1	2	11	47
年度末	8	6	0	1	1	11	2	4	1	0	5	2	2	19	62

②職員採用

区分	採用年月日	職種	処遇	採用理由
採用	4 月 1 日	作業療法士	正職員	新規事業のため
採用	4 月 1 日	保育士	正職員	新規事業のため
採用	4 月 1 日	保育士	正職員	新規事業のため
採用	4 月 1 日	保育士	正職員	新規事業のため
採用	4 月 1 日	2 級ヘルパー	準職員	介護員増員
採用	4 月 1 日	言語聴覚士	非常勤	新規事業のため
採用	4 月 1 日	看護師	非常勤	看護師増員
採用	4 月 21 日	事務、清掃員	非常勤	障害者雇用
採用	6 月 1 日	運転手	非常勤	送迎要員確保
採用	6 月 4 日	世話人職	非常勤	世話人増員
採用	6 月 16 日	事務職	非常勤	事務員増員
採用	8 月 20 日	世話人職	非常勤	世話人増員
採用	8 月 29 日	世話人職	非常勤	世話人増員

採用	9 月 2 日	運転手	非常勤	送迎要員確保
採用	9 月 11 日	介護福祉士	準職員	介護員増員
採用	11 月 6 日	夜間支援員	非常勤	夜間支援員増員
採用	11 月 21 日	介護福祉士	準職員	介護員増員

③退職

区分	退職月日	職種	処遇	理由
退職	7 月 4 日	事務職	非常勤	自己都合
退職	7 月 15 日	事務職	非常勤	自己都合
退職	8 月 31 日	世話人	正職員	自己都合
退職	11 月 8 日	夜間支援員	非常勤	自己都合
退職	12 月 29 日	事務職	非常勤	自己都合
退職	2 月 28 日	看護師	正職員	自己都合
退職	3 月 31 日	作業療法士	正職員	自己都合
退職	3 月 31 日	保育士	正職員	自己都合
退職	3 月 31 日	2 級ヘルパー	非常勤	自己都合
退職	3 月 31 日	運転手	非常勤	自己都合

１１.職員交流

日付			
５月２０日	歓迎会	鳥せい	５２名
９月　１日	送別会・結婚祝い	海鮮蔵	４０名
９月　８日	てぃくたく歓迎会	番々	１０名
１０月２７日	ｽﾎﾟｰﾂ大会壮行会	焼肉だいじゅ苑	２８名
１２月２０日	送別会	好	６名
１２月２０日	てぃくたく忘年会	つぼ八	８名
１２月２０日	ワルツ忘年会	ワルツ	５名
2/28 日～3/1 日	新年会	観月苑	６８名

１２.平成２６年度事故報告

別紙資料③